

事務事業名	滞在型市民農園管理事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6032					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農業振興課	課長名	築野 剛司					
			所属担当	農業振興担当	担当者名	金丸茂永					
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03	細目 080	細々目 04	
政策	計画体系	07 農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	13 農産物のブランド化と販路の拡大										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	南アルプスクラインガルテン条例並びに南アルプスクラインガルテン条例施行規則							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・南アルプスクラインガルテン滞在型30区画並びに日帰り型20区画の管理業務 ・中野エリアの17区画及び湯沢エリア30区画の簡易宿泊施設付き農園、湯沢エリアの20区画の日帰り農園と管理集会施設、休憩施設の管理運営 ・簡易宿泊施設付き農園は全て契約済みであるが、日帰り農園は18区画が未契約となっている			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
				消耗品費		87					
				印刷製本費		26					
				指定管理委託料		11,314					
				不動産借上料		954					
							計		12,381		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
26年度活動内容	NPO法人「田舎暮らしの郷南アルプス」(地元中野・湯沢住民有志等で構成)に指定管理業務委託。	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア年間利用料金</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ利用区画数</td><td>区画</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア年間利用料金	円	イ利用区画数	区画	ウ	
名称	単位										
ア年間利用料金	円										
イ利用区画数	区画										
ウ											
27年度活動予定	NPO法人「田舎暮らしの郷南アルプス」(地元中野・湯沢住民有志等で構成)に指定管理業務委託。										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
契約者 地元住民。地権者		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア延べ利用人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ滞在日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア延べ利用人数	人	イ滞在日数	日	ウ	
名称	単位										
ア延べ利用人数	人										
イ滞在日数	日										
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
遊休農地の管理をしなくてよい。 エリア内の草取り等を行うことで、対価が得られる。 田舎暮らしの良さを体感できる。念願の農作業にいそめる。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア満足している利用者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア満足している利用者の割合	%	イ		ウ	
名称	単位										
ア満足している利用者の割合	%										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
都市住民との交流により地域が活性化する。 南アルプス市の良さを利用者を通して、都市部の人にPRできる。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア「地域が活性化した」と答えた中野地区民及び湯沢地区民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア「地域が活性化した」と答えた中野地区民及び湯沢地区民の割合	%	イ			
名称	単位										
ア「地域が活性化した」と答えた中野地区民及び湯沢地区民の割合	%										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	10,438	12,122	12,455	12,314	12,314	12,314	
	一般財源	千円	0	1,804					
	事業費計(A)	千円	10,438	13,926	12,455	12,314	12,314	12,314	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	370	560	120	60	36	30	
	人件費計(B)	千円	1,684	2,549	546	273	164	137	0
	(A)+(B)	千円	12,122	16,475	13,001	12,587	12,478	12,451	0
活動指標	ア 円		400,000.0	400,000.0	411,420.0	411,420.0	411,420.0	419,040.0	
	イ 区画		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
	ウ								
対象指標	ア 人		8,670.0	8,700.0	8,800.0	8,900.0	9,000.0	9,000.0	
	イ 日		5,204.0	5,300.0	5,400.0	5,500.0	5,500.0	5,500.0	
	ウ								
成果指標	ア %		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %								
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	利用者と地域農家との交流による地域の活性化、遊休農地の解消、地域経済を潤すため平成19年度に事業着手した
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	都市住民の田舎暮らしブームは継続。依然、滞在型農園人気は高いが、他自治体・団体の進出状況、施設の老朽化等により、将来的に人気は継続する可能性は低い。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域に経済効果が波及するようにしてほしいと言う意見が事業を進める上であった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	随時、維持管理運営について、見直しを行い改善をしてきた。H24年度には、指定管理者制度導入を視野に入れ、維持管理に携わる地元住民等に対する説明会、研修会を行ってきた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	H24年度に引き続き、指定管理者制度移行のための取り組みを行い、平成26年度から指定管理者制度を導入するため、基本協定・年度協定を締結した。

事務事業名	滞在型市民農園管理事業	所属部	農林商工部	所属課	農業振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 遊休農地対策と利用者(都市住民)と地域住民との交流促進、地域の活力向上を目的とし事業を行う中で、利用者との交流を通じて、南アルプス市の農産物周知、販売、知名度向上を図っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 単年度の維持管理については、一般財源の投入を最小限にし、大部分を受益者負担(利用者の年間使用料)により事業を執行しているが、人件費や事務の効率化、利用者へのサービス向上、地域への経済効果を視野に民間活力による維持管理体制への変更を検討。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地権者から土地を賃借し、利用者へ貸し出すという、現状の事業スタイルについて、建物の老朽化等を含め、長期計画を見直す必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 維持管理、運営体制を見直すことにより、サービス向上を図り、成果を向上させることが出来る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 市民農園として「汗かき農園維持管理事業」があるが、施策目的が相違し、立地が離れている等の条件からも統合出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 20年の借地契約となっており、契約解除後には、再び遊休農地になってしまう。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 維持管理事業を中止すれば、現状復帰しての返還となるため、費用が高む上に、国庫補助金の返還が伴ってくる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 維持管理、運営体制を見直すことにより、サービス向上を図りつつ、コストを削減することが出来る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 維持管理、運営体制を見直すことにより、サービス向上を図りつつ、コストを削減することが出来る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 現在、単年度の維持管理の大部分を利用者の受益者負担(年間使用料)により事業執行している。しかし、年数経過とともに経費の増加が予測され、積立金の取り崩しと併に、一般財源の投入の必要が生じてくる。利用者は、本市に住民登録をしていないので、市民からすると不公平感は否めない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	評価を検証する中で平成26年度から指定管理者制度を導入する。地元中野・湯沢住民有志等から構成されるNPO法人が指定管理者になることにより、現状より利用者・地域に密接した形で事業を運営することで利用者サービス等が向上することが期待されると共に、人件費等のコスト削減が図られ、事業の有効性・効率性が高まり、地域からの要望などにも応えることが出来る。今後は、公平性等を考慮する中で、老朽化対策等の中長期計画を検討していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 関係者の努力による経費の削減を進める。 ② 平成26年度から指定管理者制度に移行し地元組織により維持運営管理を行う。 ③ 日帰り農園の未契約区画をなくす。 ④ 平成26年度から指定管理者制度導入。今後の事業内容の検討。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 市役所が主体となった契約者に対する接待的な事業を廃止し、契約者や地域農家が主体となって行いたいと思う事業に対して支援する。 ② 指定管理に向けた地元との協議と市役所任せという地元住民の意識改革を行う。 ③ 契約者にも自身のこととして定期的な掃除や草刈を行うように信頼関係を築く。 ④ 施設の老朽化に伴う改築修繕の財源と運営方針を長期的な視点で検討していく。 ⑤ 日帰り区画の利用率が高まらないのは、サルによる被害が心配される場所であるので、対応策を検討する	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					